



Our Precision, Your Advantage

カヤバグループレポート2022

2021年4月1日～2022年3月31日

カヤバは、油圧技術を核とした
振動・パワー制御における世界のトップランナーとして、
地球と社会の持続的発展に貢献してまいります。

「あらゆるものは発達途中の過去のものであり、世の中は常に新しいものを求める。常により良い完全さを求めて止まないところに人類特有の進歩がある。」

創業者 菅場資郎が遺したこの言葉は、私たちが未来に臨むための鍵となります。ものづくりの原点に立ち返り、工夫・改善による豊かな未来の創造と社会の持続的発展に寄与するために「カヤバ」はあゆみ続けます。



代表取締役社長執行役員 最高経営責任者
大野 雅生

カヤバ株式会社

AC(オートモーティブコンポーネンツ)事業



■ 主な製品

- 四輪車用緩衝器: ショックアブソーバ(OE、市販)
- 二輪車用緩衝器: フロントフォーク、リアクッションユニット
- 四輪車用油圧機器: ベーンポンプ、CVT用ベーンポンプ、油圧パワーステアリング、EPS
- その他製品: ATV用機器、フリーロック、鉄道用ダンパ、鉄道用ブレーキ、鉄道用アクティブサスペンションシステム

■ 市場シェア (2022年3月末現在、当社調べ)

自動車用ショックアブソーバ 二輪車用フロントフォーク



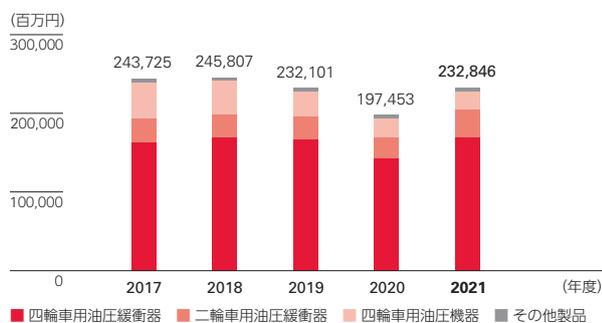
基本戦略

- 深化: 収益基盤の安定化
- 進化: 革新的なものづくり
- 新化: 高付加価値製品の創出

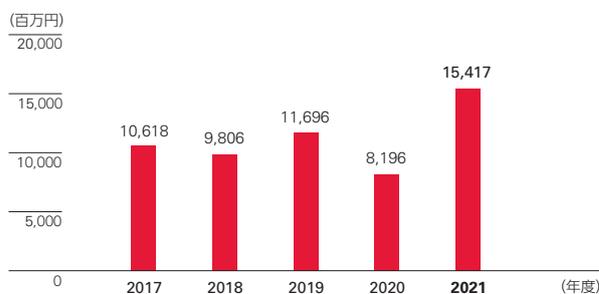
2022年度に目指す姿

既存事業とコア技術深化による
コアサプライヤーとしての地位確立

売上高*1



セグメント利益*2



*1 2017年度より、連結損益計算書の「その他の収益」に計上していた「ロイヤリティ収益」および「金型補償に関する収益」を、「売上高」に含めて計上しています。

*2 セグメント利益は、売上高から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出しています。

技術戦略

コア技術を進化させて新たな価値の提供へ

電動化やEV化により大きく革新する市場に対応すべく、当社はコア技術を柱に高付加価値製品の開発を推進し、お客様へ最適な商品を提案できる「カヤバ」を目指します。

自動車・鉄道などの輸送機器を支える振動制御技術は、より高い安全性・快適性を求められることから、路面・走行時のデータを収集・解析し、リアルタイムにコントロールを可能とするアクティブサスペンションの開発などを進めています。

また当社が保有する車両の計測技術、分析技術にAI/IoT技術を融合させ、車両に設置した専用機器を用いて路面状況を自動で収集して異常を検知する道路維持管理業務支援サービス「スマート道路モニタリング」をスタートさせました。本サービスは協力自治体での試験運用を通じて機能実証を終え、サービスのリリースに向けて機能の調整を進めています。

HC(ハイドロリックコンポーネンツ)事業



コントロールバルブ



走行モータ



油圧シリンダ



一体型HST(ポンプ+モータ)

■ 主な製品

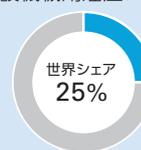
産業用油圧機器: シリンダ、バルブ、ポンプ、モータ、MMP、HST

システム製品: 艦艇機器、免振装置、シミュレータ、油圧システム、トンネル掘削機、環境機器

■ 市場シェア

(2022年3月末現在、当社調べ)

建設機械用油圧シリンダ



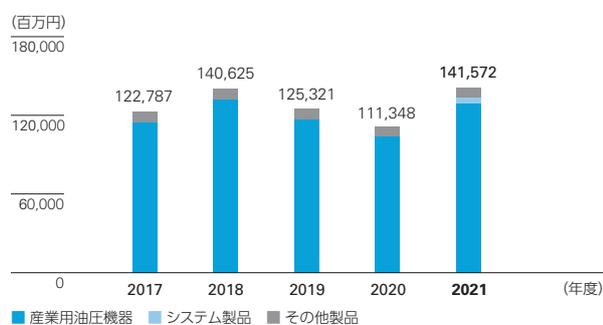
基本戦略

- 自動化・複合化ニーズへの対応
- 原価低減・現地調達化活動推進

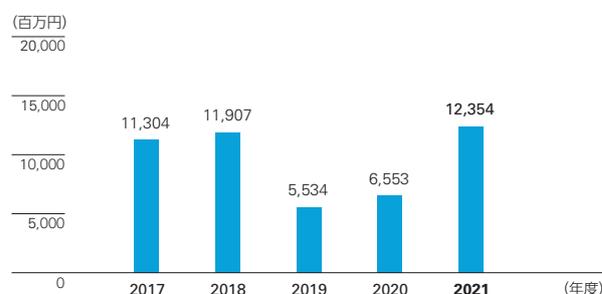
2022年度に目指す姿

お客様に信頼され
世界で採用され続けるHC事業

売上高*1



セグメント利益*2



*1 2017年度より、連結損益計算書の「その他の収益」に計上していた「ロイヤリティ収益」および「金型補償に関する収益」を、「売上高」に含めて計上しています。またセグメント管理区分の見直しを行った結果、2021年度より「システム製品」を「HC事業」に含めて開示しています。

*2 セグメント利益は、売上高から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出しています。

技術戦略

独自技術で高度な制御を可能に

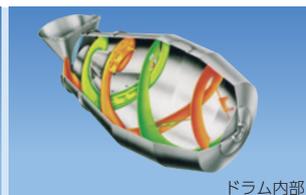
油圧機器の電子制御化モデルの開発を進めています。遠隔操作、自動化、無人化といった技術的トレンドに対し、電子制御システムによる提案力を強化していきます。

各種アクチュエータ(油圧や電動モータによって、エネルギーを並進または回転運動に変換する駆動装置)を制御し、動作をスムーズに行うのが、建設機械の「頭脳」であるコントロールバルブです。そこへ「心臓」部分であるポンプと、カヤバが得意とする油圧技術・電気制御・センシング技術を組み合わせ融合させることで新しい

付加価値を創出しています。

低騒音・低燃費・操作性向上・アタッチメント多様ななどの市場ニーズや、環境対応も進めています。高度なロードセンシング技術により、オペレータの経験に頼っていた操作が容易になり、省エネや自動化しやすくなるメリットを今後も追及していきます。また一方でSDGsやカーボンニュートラルなど社会的要求に対して、電動化製品の研究・開発など次代への取り組みを進めていきます。

特装車両事業



■ 主な製品

特装車両事業： コンクリートミキサ車、粉粒体運搬車、剪定枝粉碎処理車、特殊機能車、傾胴型混合器

■ 市場シェア

(2022年3月末現在、当社調べ)
コンクリートミキサ車

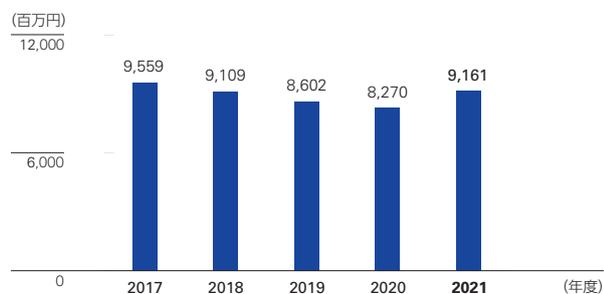


基本戦略

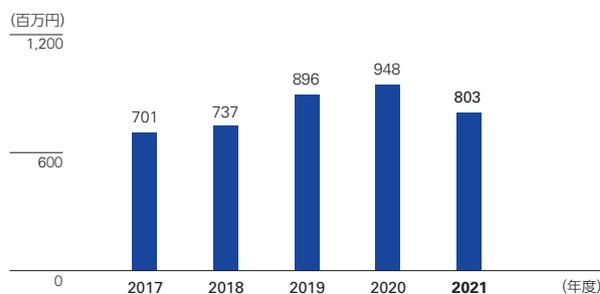
- 持続的成長を実現し、従業員が誇りを持てる事業を目指す
- 地球、人間に優しい事業を実現する

特装車両事業は、国内では市場ニーズに資する高付加価値製品開発による利益体質の強化、脱炭素社会に貢献できる新製品および他事業との連携による次世代製品の研究開発を促進します。海外では新たな海外ビジネスプラン策定による特装グローバル体制の基盤整備を進めます。

売上高*1



セグメント利益*2



*1 2017年度より、連結損益計算書の「その他の収益」に計上していた「ロイヤリティ収益」および「金型補償に関する収益」を、「売上高」に含めて計上しています。

*2 セグメント利益は、売上高から売上原価、販売費および一般管理費を控除して算出しています。

COLUMN

製品×人財×未来

カヤバの新たな挑戦

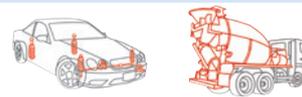


キャンピングカー研究プロジェクト

特装事業が中心となって、AC / HC / 研究・開発その他部門の知見を取り入れるためのプロジェクトチームを編成しました。

カヤバの架装技術・サスペンション技術を駆使して、安全性や走る楽しさの追求、災害時の居住空間など新たな価値提供に向けて動き始めています。

- 技術を結集した安全性の追求
- 災害時の居住空間の提供

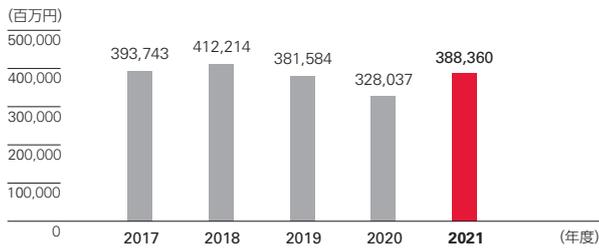


振動制御+パワー制御

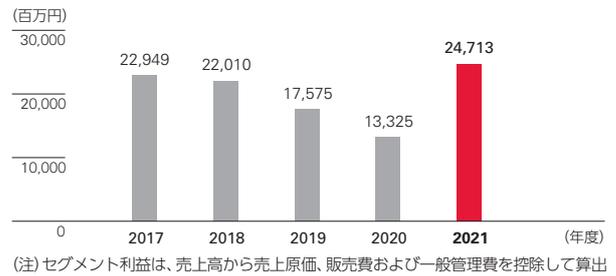
カヤバハイライト

財務

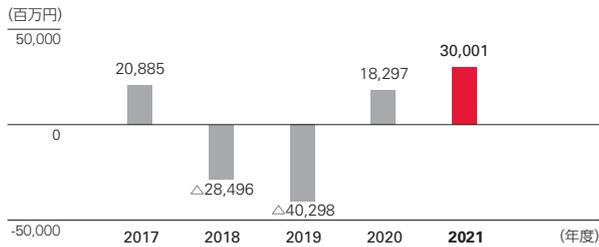
売上高



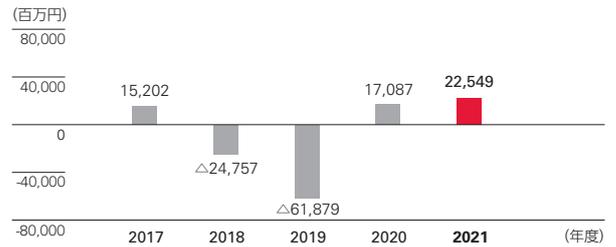
セグメント利益



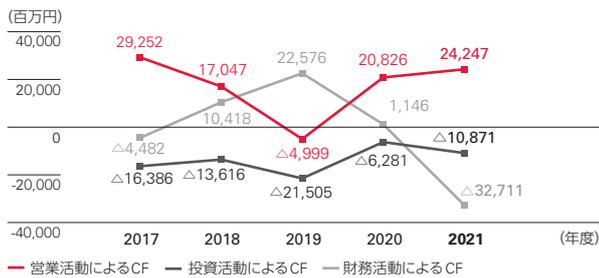
営業利益(△は損失)



親会社の所有者に帰属する当期利益(△は損失)



キャッシュ・フロー(CF)



親会社所有者帰属持分比率

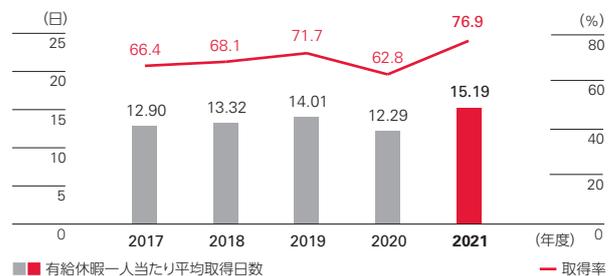


非財務

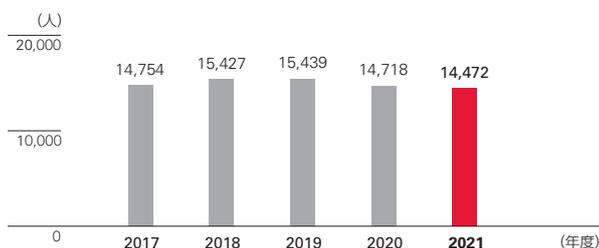
CO₂総排出量: Scope 1+Scope 2



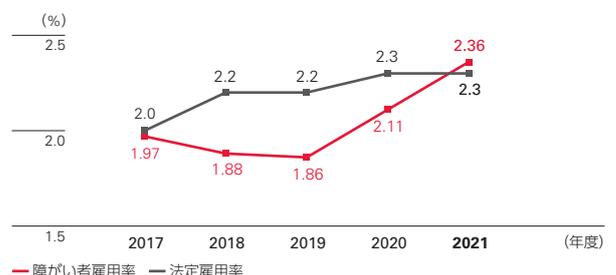
有給休暇一人当たり平均取得日数・取得率



連結従業員数



障がい者雇用率 / 法定雇用率



会社概要 (2022年3月31日現在)

会社名	KYB 株式会社
本社	〒105-5128 東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービルディング 南館28階 TEL :03-3435-3511 FAX :03-3436-6759

創立	1935年3月10日
事業年度	4月1日～翌年3月31日
資本金	276億4,760万円
従業員数	14,472名(連結)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

世界の中のカヤバ (2022年3月31日現在)

Europe (12カ国、7社)

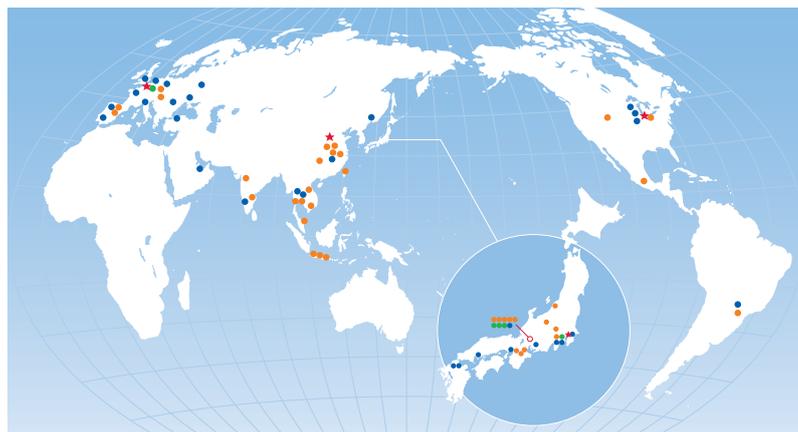
- ★ ● KYB Europe GmbH
 - KYB Europe GmbH (Navarra Branch)
 - KYB Europe GmbH (Dusseldorf Branch)
 - KYB France
 - KYB Iberia
 - KYB Italy
 - KYB Poland
 - KYB Romania
 - KYB Turkey
 - KYB UK
 - KYB Ukraine
- KYB Suspensions Europe, S.A.U.
- KYB Advanced Manufacturing Spain, S.A.U.
- KYB Manufacturing Czech s.r.o.
- KYB CHITA Manufacturing Europe s.r.o.
- LLC KYB Eurasia
 - KYB Eurasia Vladivostok
- KYB Middle East FZE

Asia (7カ国、18社)

- ★ ● KYB (China) Investment Co., Ltd.
- KYB Industrial Machinery (Zhenjiang) Ltd.
- ● Wuxi KYB Top Absorber Co., Ltd.
- Changzhou KYB Leadrun Vibration Reduction Technology Co., Ltd.
- Hubei Henglong & KYB Automobile Electric Steering System Co., Ltd.
- CHITA KYB Manufacturing (Zhenjiang) Co., Ltd.
- KYB Manufacturing Taiwan Co., Ltd.
- KYB Steering (Thailand) Co., Ltd.
- KYB (Thailand) Co., Ltd.
- KYB Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- Takako Vietnam Co., Ltd.
- PT. KYB Hydraulics Manufacturing Indonesia
- PT. Kayaba Indonesia
- PT. Chita Indonesia
- KYB-UMW Malaysia Sdn. Bhd.
- KYB Motorcycle Suspension India Pvt. Ltd.
- KYB-Conmat Pvt. Ltd.
- KYB Asian Pacific Corp. Ltd.
- KYB Asian Pacific Corp. Ltd., Amata Nakorn Branch
- KYB Corporation Chennai Branch

Japan (1カ国、11社)

- ★ ● カヤバ株式会社
 - 熊谷工場
 - 相模工場



- 岐阜北工場
 - 岐阜南工場
 - 岐阜東工場
 - 三重工場
 - 基盤技術研究所
 - 生産技術研究所
 - 工機センター
 - 開発センター
 - 南関東
 - 名古屋
 - 大阪
 - 広島
 - 福岡
 - KYB トロンデュール株式会社
 - KYB-YS 株式会社
 - KYB 金山株式会社
 - KYB モーターサイクルサスペンション株式会社
 - カヤバCS株式会社
 - 株式会社タカコ
 - 株式会社けんしゅう
 - ジャパン・アナリスト株式会社
 - KYB ロジスティクス株式会社
 - 筑陽精機工業株式会社
- ### America (3カ国、6社)
- ★ ● KYB Americas Corporation (Indiana)
 - KYB Americas Corporation (Greenwood)
 - KYB Americas Corporation (Chicago)
 - Takako America Co., INC.
 - KYB Mexico S.A. de C.V.
 - KYB Manufacturing do Brasil Fabricante de Autopecas S.A.
 - KYB International America, Inc.
 - Comercial de Autopecas KYB do Brasil Ltda.



カヤバグループレポートはFSC®森林認証紙、ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)など環境に配慮した資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場で印刷されています。